Lavender

八王子市立第三・第四・第十・大和田小学校

放課後の子ども教室　囲碁教室だより

69 号　2022 年 6 月

編集　成田　滋　shigerunarita@gmail.com

ブログ　https://naritas.jp/wp1/

八王子囲碁連盟　https://hachigoren.com

◆6 月の放課後子ども囲碁教室の日程です。

第三小学校：6 月 2 日、9 日、16 日，23 日、30 日　毎週木曜日 2 時 30 分～　四階 家庭科室
第四小学校：6 月 6 日、20 日　毎週月曜日 2 時 30 分～　三階 ひらめき教室
第十小学校：6 月 3 日、10 日，17 日、24 日　毎週金曜日 2 時 30 分～　一階 家庭科室
大和田小学校：6 月 1 日、8 日、15 日，22 日、29 日　毎週水曜日 2 時 30 分～　二階　図書室

◆童話の紹介『しらすどん』

（最勝寺朋子　作・絵　／岩崎書店）

「しらすどん」の物語は、丼(どんぶり)にしらすを１匹残した男の子を、丼が「まだあるよ」と呼び止めるところから始まります。主人公「りょうくん」は庭で遊んでいます。しらすとは、イワシのあかちゃんであるのをご存知ですか。

お母さん；「そろそろ ごはんよ！」
りょうくんはいやいや食卓につきます。りょうくんのお昼ご飯はしらす丼でした。
りょうくん：「ごちそうさま」　食事が終わって、りょうくんが席を立つと、
どんぶり：「まだあるよ」「まだあるよ」と言われても知らんぷりをしたりょうくんです。何気なく食べ残した一匹のしらす。
どんぶり：「じぶんがしらすだったらって、かんがえたことある？」といって怒りました。そのとたん、りょうくんはみるみる小さくなって、どんぶりの中へ。お母さんにどんぶりが洗われ、ゴミ袋に入れられ、ゴミ処理場で火のなかに投げ込まれます。散々な目にあったりょうくんは、気がついたら、しらすになって海にいました。

毎日たくさんのおいしい物が、食べられることなく捨てられています。小さなしらすにも一匹一匹顔があり、命があります。海中の透明なシラスをみずみずしく描いたのがこの絵本です。「この絵本を読むとしらすが食べたくなる！」そして、「もう一匹も食べ残せなくなる！」、「生き物をいただくこと」の意味、命とは何かを知る大切な旅です。

私も小さいとき、母から「ご飯粒がまだ残っている！」といわれたことが何度もあります。その頃米は珍しいものでした。ごつごつした麦ご飯や細長く固い外米をいただいていた頃です。残飯とか、おかずの食べ残しなどはありえませんでした。食べ物がないこと、空腹ほど辛いことはありません。この絵本を作った最勝寺朋子さんは、実際に海にもぐったり、シラス漁を体験されたりして絵本作りのための取材を丁寧に重ねていったのだそうです。「命を感じる」ことができる童話です。

◆童話の紹介『私と小鳥とすずと』

(金子みすゞ　作　／河出書房新社)

私が両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のやうに地面を速くは走れない。
私がからだをゆすっても、きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のやうに、たくさんな唄は知らないよ。
鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。

金子みすゞ

大正時代の歌人、金子みすゞの詩の一節です。空に、小鳥に、魚に、土に、そして何より自分に「あなたはあなたでいい」と語り掛けます。「見えぬけれどもあるんだよ」、そして「みんなちがって、みんないい」とそっと寄り添うのです。心に響く言葉です。

第９回八王子市子ども囲碁大会　2022 年 6 月 26 日（日）　東浅川保健福祉センター4 階
参加希望者は成田滋先生まで